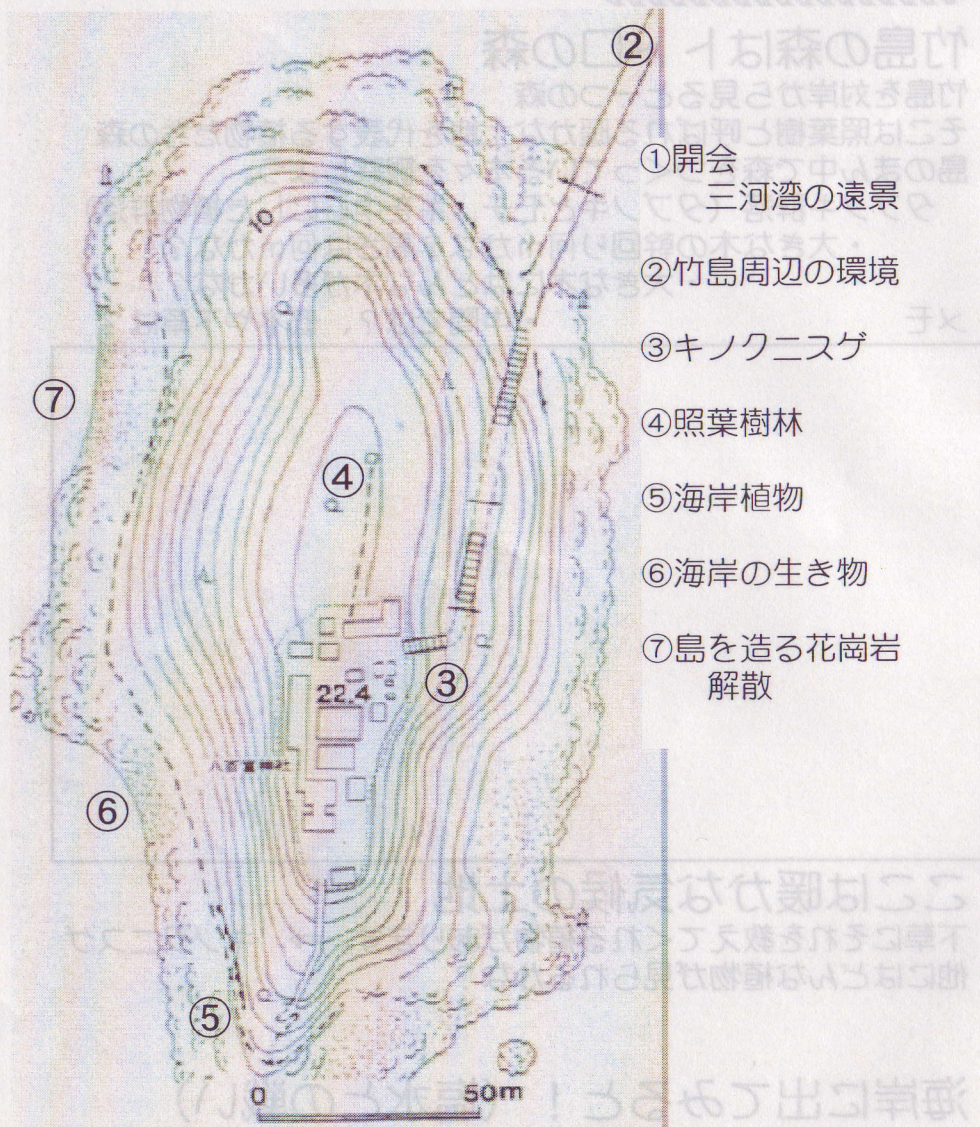


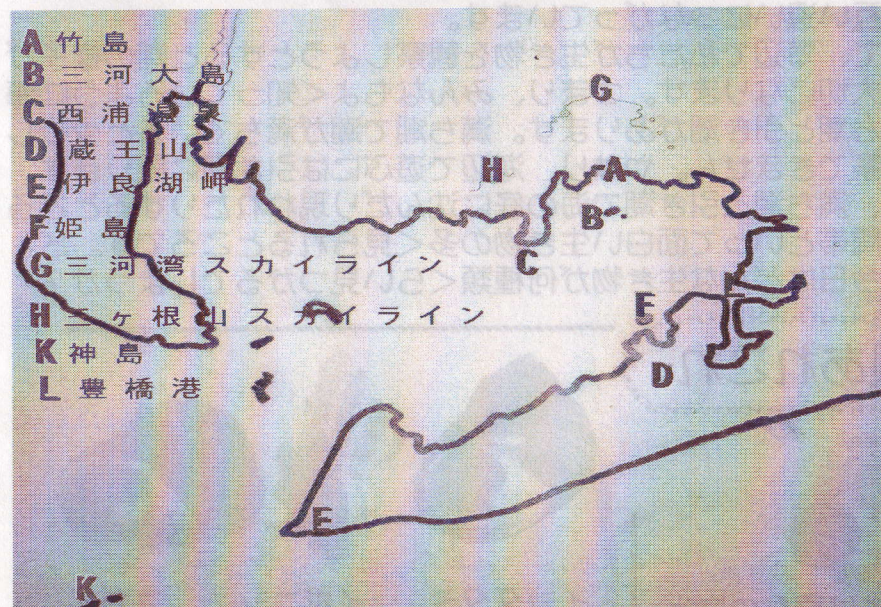
観察ポイント、スケジュール



身の周りのかけがえのない自然、
みんなの手でいつまでも残そう！

第2回地域自然観察会

竹島の自然を 丸ごと観察しよう



竹島は海岸から387メートル（橋の長さ）の沖、
周囲680メートル、標高22.4メートル、
面積1.9ヘクタール。

竹島全体が八百富神社の神域で実にまろやかに見えます。樹々の樹冠（上方先端部）は煙が吹き上がったように丸くなっています。このような様子が照葉樹林の特色です。照葉樹は常緑広葉樹で表面に艶があります。ヤブツバキの葉が典型的です。竹島ではタブ、モチの優先するタブノキ群落になっています。昭和5年に国の天然記念物として指定されています。竹島を形作る岩石は花崗岩の仲間で作られています。

主催 東三河自然観察会

（日本自然保護協会・愛知県自然観察指導員連絡協議会）

後援 愛知県

蒲郡市教育委員会

海辺ってどんな所？

海辺、陸と海との境目あたりです。

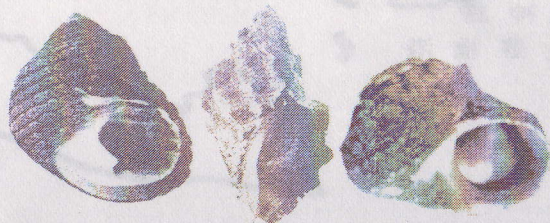
海辺には、砂や砂利などでできている砂浜と、岩のごつごつした磯とがあります。そして、この砂浜と磯は長さの違いはありますが互い違いにつながっています。

さて、海辺で私たちが生き物を観察しようとするすると潮の様子が大変大切になります。つまり、みんなもよく知っているように海は満ち潮と引き潮があります。満ち潮で潮が満ちていると少ししか観察できません。やはり、海辺で遊ぶには引き潮に限ります。この、満ち潮と引き潮で海の底に沈んだり現われたりするところを潮間帯といって面白い生き物の多く見られるところです。さて、今日はどんな生き物が何種類くらい見つかるでしょうか？

貝あれこれ



ほくは貝なのに水が大っ嫌い。だから、ほくはふだんは水の来ない海岸の岩場の上のほうに着いています。でも、まるっきり水がないのも困ります。なぜなら、息もできなくなるし、えさも食べられなくなるからです。だから、波飛沫のかかる所が大すきです。こんなほくの名前は『タマキビ』といいます。



イシダタミ イボニシ スガイ

ほくたちは磯で普通に見られる巻貝です。でも、見つかる場所は少しずつ違ってきますよ。さあどんなふうに違うのでしょうか。

イシダタミは上の方、スガイは潮が引いてやっと水がなくなったあたり。イボニシはその中間。

さあ、ほくたちを探して見て下さい。すぐに見つかりますよ。ところで、ほくたちのうちイボニシだけが肉食です。

何が見つかったかな？

竹島の植物

竹島の森はトトロの森

竹島を対岸から見ると一つの森

そこは照葉樹と呼ばれる暖かな土地を代表する植物たちの森島のまん中で森をつくっている木々を観察しよう。

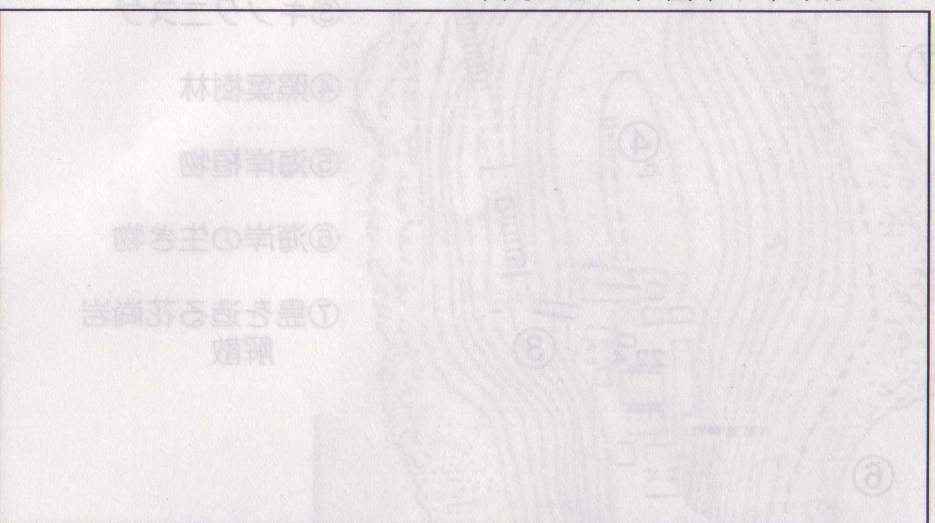
タブノキ群落（タブノキとモチノキを中心にした植物群落）

・大きな木の幹回り何mかな？高さは何mかな？

・大きな木にはどんな木が多いかな？

・中間では？、低木や下草は？

メモ



ここは暖かな気候の土地

下草にそれを教えてくれる植物があります。⇒ キノクニスゲ
他にはどんな植物が見られるかな？

海岸に出てみると！（塩水との戦い）

海岸にも独特の植物が（海浜植物）あります。海岸は内陸と違って、塩水の影響を強く受けます。そこで、塩水に強い仕組みを持っています。どんな仕組みでしょうか？普通の植物はどうでしょうか？くらべてみましょう。

ハマアザミ・ツルナ・ハマボウスなど